保 証 書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

電子レンジ	品　番　YMW-S17G1
★お客様お名前　　様	
★ご住所　〒　　★電話番号（　　）　－	
保証期間 ★お買上げ日　　年　　月　　日から **本体…… 1年間**	★取扱販売店名, 住所, 電話番号

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
　ロ．お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
　ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
　ニ．業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
　ホ．本書の提示がない場合。
　ヘ．本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　ト．消耗部品の交換
　　仕様変更　} 等
2．保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
3．ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
4．ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「お客様相談室」にお問い合わせください。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。　Effective only in Japan.
6．本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、20ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

見本

株式会社ヤマダホールディングス

【お客様相談室】 TEL 0120-258-260（無料）

〒370-0841　群馬県高崎市栄町1番1号

受付け時間：午前10時～午後9時（元日のみ休日）

Y12

取扱説明書

電子レンジ
品番 YMW-S17G1

一般家庭用
（業務用としては使用しないでください）

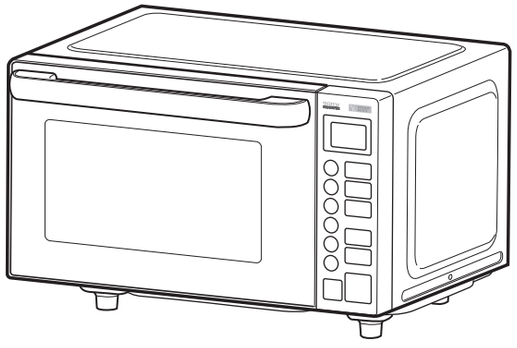
保証書付（裏表紙）

お買上げまことにありがとうございます。

●この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
特に1～4ページの「**安全上のご注意**」を必ずお読みください。

●この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.

YAMADA SELECT



もくじ

ページ

安全上のご注意 …… 1～4
設置について …… 5
使える容器・使えない容器 …… 6
各部のなまえ …… 7～8
調理時間の目安について …… 9
知っておいていただきたいこと …… 10
使いかた …… 11～16
●あたためる(クイックスタート／手動調理／自動調理)
●解凍する
●キッチンタイマー／消音モード
加熱のしくみ …… 16
上手に使うポイント …… 17
お手入れ …… 18
故障かな？と思ったら …… 19
仕 様 …… 19
修理サービスについて …… 20
愛情点検 …… 20
保証書 …… 裏表紙

取扱説明書（保証書付）・本体には商品の色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、3つに区分しています。

⚠ 危険	人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容。
⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

禁止 ⃠は、してはいけない「禁止」の内容です。	一般的な禁止　分解禁止　接触禁止 ぬれ手禁止　水ぬれ禁止
強制 ❗は、必ず実行していただく「強制」の内容です。	必ず行う　電源プラグを抜く アース線を接続する

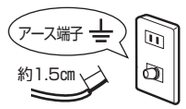
⚠危険

吸気口・排気口・穴などにピンや針金など、異物を入れない
感電や異常動作をしてけがをするおそれがあります。

分解禁止 **絶対に改造、分解をしない**
改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。
火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。

⚠警告

アース線を接続する **アースを確実に取り付ける**
確実に取り付けられていないと、万一故障や漏電をしたときに感電するおそれがあります。
[アースの取り付け方]
アース線の先端の被覆を約1.5㎝むき、アース付コンセントのアース端子にしっかりと接続します。
※コンセントにアース端子がない場合はお買上げの販売店にアース工事(有料)をご相談ください。



❗	**湿気の多いところ(地下室など)や洗い場の近くなど水のかかりやすいところに設置する場合は、必ずアース線に加え「漏電しゃ断器」をつけてください。**
⃠	**次のところへはアース線を接続しないでください。** **ガス管・水道管・避雷針・電線のアース線**

煙が出たり、異常なにおいがしたり、異音が出る場合はすぐに電源プラグを抜いて、修理を依頼する

電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む
さし込みが不完全な場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。

電源プラグを抜く **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く**
感電・ショート・けがのおそれがあります。

⚠警告

電源は、交流100V・定格15Aのコンセントを単独で使用する
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。

電源プラグは清潔にする
電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。発煙・発火・火災の原因となります。

お子さまのいたずらに注意する
倒したり、上にのったりして、けが・感電・やけど・故障のおそれがあります。

加熱するときは、設定時間を控えめにし、様子をみながら加熱する
食品の分量に対して加熱時間が長いと、発火・発煙・やけどの原因となります。
特に、少量の加熱時や油脂の多い食品・液体、さつまいもなどの根菜類の加熱にはご注意ください。

殻や膜などのある食品(トマト・イカ・栗・銀杏など)は、切れ目や割れ目を入れてから加熱する
そのまま加熱すると、破裂して、やけど・けがの原因となります。

加熱前、加熱後は必ずスプーンでかき混ぜる
加熱後、取り出したあとに、突然沸騰(突沸)して飛び散る場合があり、やけどの原因となります。

卵はそのまま加熱しないでよく割りほぐしてから加熱する
破裂して、やけど・けがの原因となります。

食品を加熱しすぎない
加熱しすぎると、食品が炭化し、発煙・発火に至る場合があります。
万一発煙・発火した場合は次のことを行ってください。
- すぐに電源プラグを抜く
- ドアを開けずに鎮火するのを待つ
- 鎮火しない場合は消化器で消火する

処理後はそのまま使用せず、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。

異常・故障時には、ただちに使用を中止する
使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。

<異常・故障例>
- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 異常なにおいや音がする。
- ドアに著しいガタや変形がある。
- 触れると電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

※お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」に点検、修理を依頼してください。

油脂の多い食品・液体*1、粒入りスープ*2を加熱するときは突沸に注意する
加熱後、取り出したあとに、突然沸騰(突沸)して飛び散る場合があり、やけどの原因となります。
＊1…バター・生クリーム・オリーブ油など
＊2…コーンの粒やあさりなどが入ったスープ・小豆の粒が入ったおしるこなど

缶詰・ビン詰・レトルト袋などの食品は別の容器に移してから加熱する。また、鮮度保持剤(脱酸素剤)を入れたまま加熱しない
発火や破裂して、やけど・けがの原因となります。

容器を使用するときは、広口で背の低い容器を使用し、8分目まで入れる
少量の加熱は、沸騰による飛び散りの原因となります。

電源プラグを抜く **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く**
感電・ショート・発火・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグは乱暴に取り扱わない
電源コードまたは、電源プラグを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、束ねて使用する、などをしない。
感電・ショートによる発火の原因となります。
修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠警 告

子供や不慣れなかただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない
やけど・感電・けがの原因となります。

ゆで卵の加熱はしない
破裂して、やけど・けがの原因となります。

延長コードを使用しない
火災・やけどの原因となります。

調理以外の目的で使用しない
発熱や異常動作をして発火・火災の原因となります。
- 湯たんぽの加熱
- おしぼりの加熱・乾燥
- 哺乳ビンの消毒
- 衣類の乾燥

など

燃えやすいもののそばに置いたり、熱に弱いものやカーテンなどの近くで使用しない
火災のおそれがあります。

本体の上に水や、その他の液体の入ったものを置かない
水分がこぼれて、感電・故障の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜きさししない
ショート・感電・けがの原因となります。
ぬれ手禁止

ドアが破損したり、ドアのロックに異常がある場合は使用しない
電波が漏れて、人体に障害を与えるおそれがあります。

電源コードや電源プラグが傷ついたり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因となります。
すぐにお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。
修理技術者以外の人が、修理をしないでください。

飲み物を加熱しすぎない
加熱後、取り出したあとに、突然沸騰(突沸)して飛び散る場合があり、やけどの原因となります。
加熱しすぎたときは、そのまま 20～30 秒ほど庫内で冷ましてから取り出してください。

熱に弱い敷物（畳・じゅうたん・テーブルクロスなど）の上には置かない
火災の原因となります。

業務用として使用しない
本製品は家庭用として設計・製造されています。
業務用としての使用は、絶対しないでください。

本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない
感電・ショート・発火・故障の原因となります。
水ぬれ禁止

⚠注 意

本体のお手入れは、必ず電源プラグを抜き本体が冷えてから行う
感電・やけどのおそれがあります。

本体を移動するときは必ず電源プラグを抜き、アース線を外して移動する
けが・故障の原因となります。

使用後はお手入れをする
雑菌が繁殖したり、発火・故障の原因となります。

お弁当をあたためるときは、ふたやラップを外し、ゆで卵・アルミケース・調味料類は取り出す
火花が出たり、破裂によるけが・やけどをするおそれがあります。

壁との間を空けて置く
過熱して発火するおそれがあります。

長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く
けがや絶縁劣化による感電・ショート・火災の原因となります。
電源プラグを抜く

⚠注 意

ガソリン・シンナー・ベンジン・アルカリ性洗剤・灯油・ベンゾール・アルコール・みがき粉などで拭かない。また、殺虫剤などをかけない
樹脂や塗装部分が、変色・変質する原因となります。

ドアにものを挟んだまま使用しない
電波漏れによる障害が起きることがあります。

壁や家具の近くで使用しない
熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因となります。

工場や厨房など多量の粉じんや油脂の発生するところに設置しない
火災・故障の原因となります。

屋外や車の中で使用しない
本製品は屋内専用です。熱による変形・変色・感電・故障の原因となります。

庫内に付着した調理物や油を放置したまま加熱しない
発煙・発火の原因となります。
必ず庫内が冷えてから拭きとってください。
ドアに付着した汚れは必ず拭きとってください。

直射日光の当たる場所など高温になる場所に置かない
熱による変形・変色の原因となります。

水のかかるところや、火気の近くでは使用しない
感電・漏電の原因となります。

本体の上にものを置かない
過熱して焦げたり、変形するおそれがあります。

ドアに無理な力や衝撃を加えない
本体が倒れたり、変形して電波漏れや故障の原因となります。

テレビ・ラジオ・パソコンなど電子機器の近くで使わない
雑音や通信速度の低下などが発生するおそれがあります。

加熱中や、加熱後しばらくは内部・ドアなどの高温部に触れない
やけどの原因となります。
調理品を取り出すときはミトンなどをご使用ください。
食品のラップを外すときは熱い蒸気などにご注意ください。
接触禁止

お願い

乳児のミルクなどのあたためは仕上がり温度を確認する
中身をかき混ぜて温度を均一にしてから、仕上がり温度を確認してください。
やけどのおそれがあります。

レンジ加熱を行う前に容器の材質などを確認する
金属容器・アルミホイル・非耐熱のガラスなどを使用すると火花が出て発火・発煙したり、ガラスが破損することがあります。

庫内が汚れたまま加熱しない
発火・発煙のおそれがあります。

加熱中は庫内を時々確認する

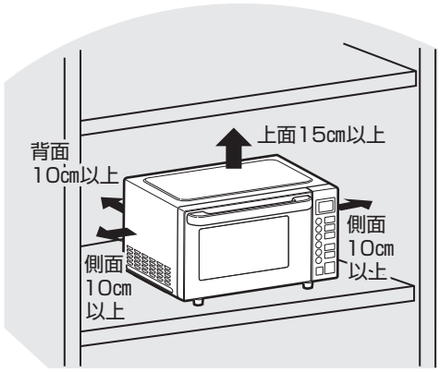
加熱終了後、ファンが回っているときは、電源プラグを抜かない
加熱を終了しても、本体が高温になっているときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。

設置について

置き場所のご注意

ご使用になる場所の安全を確認する

- 本体上面は15㎝以上、左右側面と背面は10 ㎝以上すき間を空けてください。
  また、前面は何もない状態にしてください。
- 水平で丈夫な床の上に置いてください。
- 燃えやすいものの近くに置かないでください。
- カーテンの開閉や揺らぎにご注意ください。
- 本体の上に腰掛けたり、ものをのせないでください。
- 上方からの落下物のおそれのないところでご使用ください。

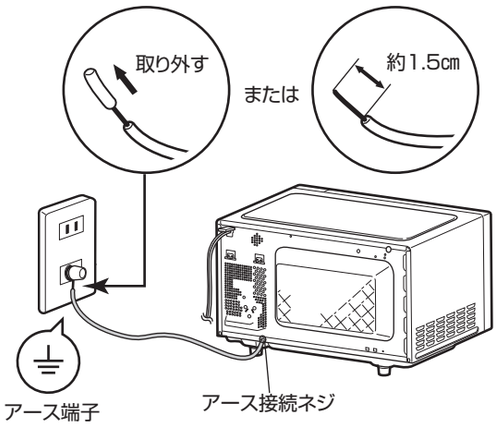


アース線を取り付ける

アース線を接続する

アースを確実に取り付ける
アースが確実に取り付けられていないと故障や漏電のときに、感電の原因となります。

- **コンセントにアース端子がある場合**
  ①アース線先端の被覆を外します。または線の先端の被覆を約1.5㎝むきます。
  ②アース付きコンセントのアース端子にしっかり接続します。
- **コンセントにアース端子がない場合**
  お買上げの販売店にアース工事（有料）をご相談ください。



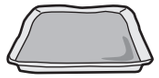
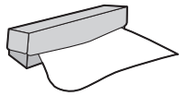
⚠ 警告

ガス管・水道管・避雷針・電線のアース線には絶対に接続しないでください。

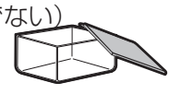
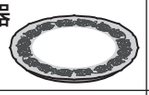
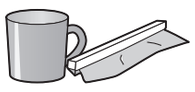
使える容器・使えない容器

本製品で使用できる容器と使用できない容器があります。ご使用前に下の表をご確認の上、正しくお使いください。

【使える容器】

使える	容器の種類	説　明
○	**耐熱ガラス**	容器本体または取扱説明書に記載されている表示をご確認ください。 ※急加熱･急冷すると割れることがあります。 ※強化ガラス･カットガラスなども耐熱表示のないものは使えません。
○	**耐熱プラスチック**	耐熱性140℃以上のもの、電子レンジ使用可能の表示のあるもの。 ※油脂の多い食材などは使えません。 ※ふたは耐熱性でないものもありますので表示にご注意ください。 通常は本体の底面に表示があります。
○	**陶器・磁器** 	※急加熱･急冷すると割れることがあります。 ※金や銀など、金属を使った装飾のあるものは火花が飛び、容器を傷めることがありますので使えません。
○	**クッキングシート** 	※庫内側面に接触させると焦げることがあります。

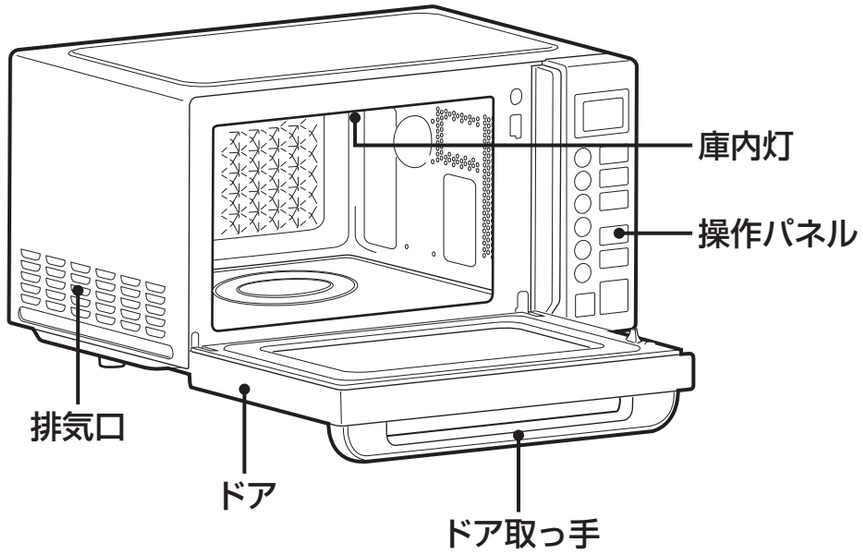
【使えない容器】

使えない	容器の種類	説　明
×	**一般ガラス** **強化ガラス** （耐熱でない）	※耐熱表示のないガラスは使えません。 ※強化ガラス･カットガラスなども耐熱表示のないものは使えません。
×	**プラスチック** （耐熱でない） 	※容器の耐熱表示をご確認ください。
×	**金属の絵付けをされた陶器・磁器** 	※金や銀など、金属を使った装飾のあるものは火花が飛び、容器を傷めることがありますので使えません。
×	**漆器・竹・紙木製品**	※塗りがはがれたり、燃えたりすることがあります。
×	**金属** 	※アルミホイル・ホーロー・金属カップなどは使えません。 ※缶詰や、レトルト容器（材料にアルミ箔などを使用した容器）*は別の容器などに移して加熱してください。

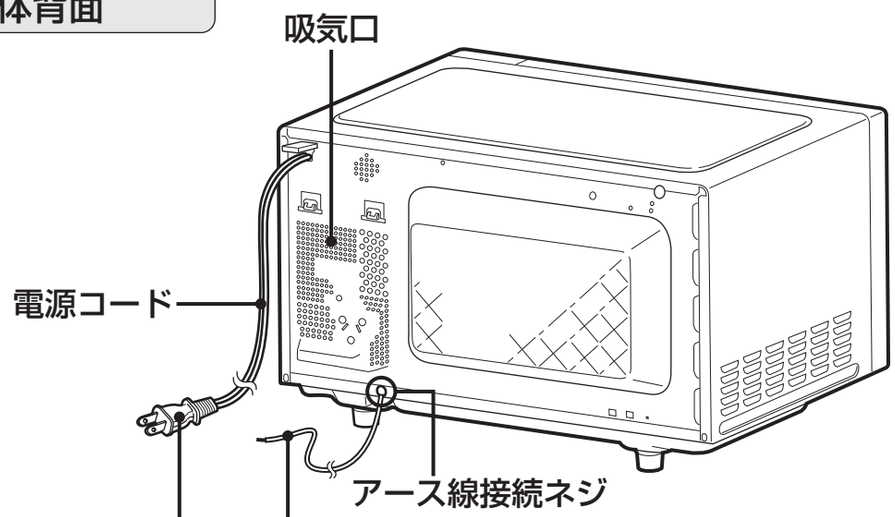
＊レトルト容器などの食品によっては電子レンジで調理できる場合があります。食品の容器の表示に従って調理してください。

各部のなまえ

本体前面



本体背面

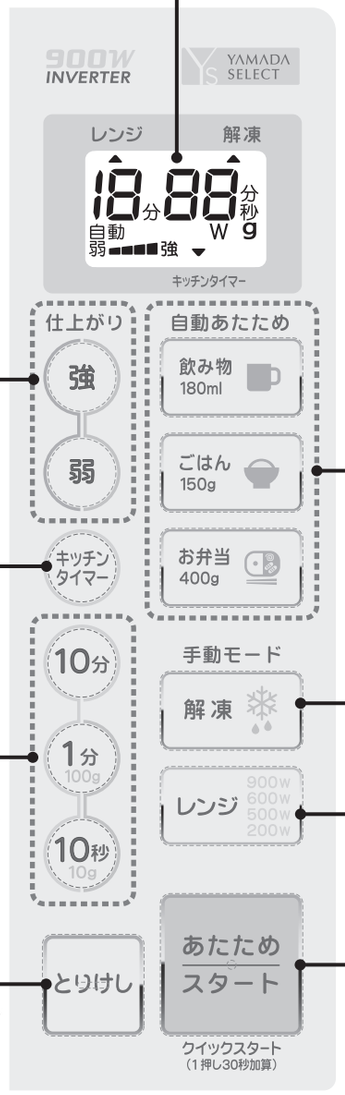


アース線
アース線は必ず取り付けてください。➡5ページ

電源プラグ
交流100V･定格15A以上のコンセントをご使用ください。使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

操作パネル

表示部
出力や調理時間などを表示します。
表示部に“0”が表示されていないときは、
待機状態（省エネ）のため操作できません。
ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。
※説明のためすべての文字を表示しています。



仕上がり調節キー
自動あたためと解凍の仕上がりの調節に使います。
➡13、14 ページ

キッチンタイマー
電子レンジ機能より別にキッチンタイマーとして使用できます。
➡10、15ページ

時間設定キー
手動調理やキッチンタイマーの時間設定および解凍時のグラム(g)を合わせるときに使います。
➡12、14、15 ページ

とりけしキー
設定を間違えたときや、加熱を途中でとりけしたいときに使います。

自動あたためキー
時間の設定を自動で行います。
➡13ページ

解凍キー
手動でグラム(g)を設定します。
➡14ページ

出力切替キー
出力設定に使います。
➡12ページ

あたため／スタートキー
動作を開始するときに使います。
加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め、再度スタートキーを押すと加熱を継続します。

調理時間の目安について

あたため時間を設定するときの目安を表示しています。
あたため前の食品の温度や種類によって適正な時間が変わります。様子を見ながら加熱してください。
※食品に加熱時間などの表示がある場合は、そちらも参考にしてください。

あたため ※出力は 600W を基準としています。

	食品の種類	分 量	加熱時間	ラップ・ふた	説　明
常温・冷蔵食品	ごはん	1杯(150g)	約1分30秒	—	ごはんがかたいときは、霧吹きなどで水を振りかける。
	煮物	200g	約2分	する	加熱後は混ぜる。
	味噌汁・スープ	1杯(200ml)	約2分	する	加熱後はかき混ぜる。
	カレー・シチュー	200g	約2分	する	深めの容器で加熱する。加熱後はかき混ぜる。
	焼きそば	1人分(200g)	約2分	—	乾いているときは、サラダ油を少し混ぜる。 加熱後はかき混ぜる。
	ハンバーグ	2個(180g)	約1分30秒	—	表面が乾いているときに、サラダ油を塗る。
	天ぷら・フライ	1人分(200g)	約2分	—	キッチンペーパーを敷き、重ならないように並べる。 ※イカは破裂することがあるので控えめに加熱
	焼きとり	6本(180g)	約1分30秒	—	先にタレを塗る。(照りを出す)
	チャーハン・ピラフ	1人分(250g)	約2分	—	かたいときは、霧吹きなどで水またはサラダ油などを少量ふりかける
	牛乳	1杯(200ml)	約1分30秒	—	加熱後はかき混ぜる。
	コーヒー	1杯(180ml)	約1分30秒	—	加熱後はかき混ぜる。
	お酒	1杯(180ml)	約1分	—	加熱後はかき混ぜる。
	肉まん・あんまん	1個(65g)	約1分	する	水にぬらしたキッチンペーパーをのせ、 1つずつゆったりとラップをかける。 ※あんまんはあんが熱くなり、舌をやけどしたり、 発煙のおそれがあるため、加熱時間を控えめにする。
	お弁当	1個(400g)	約2分	—	しょう油の容器・アルミ小容器・丸ごとのゆで卵などは取り出してから加熱する。
冷凍食品	ごはん	1杯(150g)	約3分30秒	する	ラップにくるんだまま耐熱容器に入れて加熱する。
	カレー・シチュー	200g	約4分	する	深めの容器で加熱する。加熱後はかき混ぜる。
	ハンバーグ	2個(180g)	約2分30秒	する	加熱後ラップをしたまま2〜3分蒸らす
	おまんじゅう	1個(65g)	約1分	する	あんが熱くなり、舌をやけどしたり、発煙のおそれがあるため、加熱時間を控えめにする。
	シュウマイ	10個(160g)	約4分	する	水にぬらしたキッチンペーパーをのせ、ゆったりとラップをかける。またはさっと水にくぐらせる。
ゆで野菜	だいこん	400g	約8分	する	大きさをそろえる。
	じゃがいも	200g	約5分	する	大きさをそろえる。
	にんじん	150g	約4分30秒	する	野菜が浸るぐらいの水を入れてふたをする。
	白菜・キャベツ	200g	約2分30秒	する	太い芯はあらかじめ除いておく。
	ほうれん草	200g	約2分30秒	する	加熱後すぐに水にさらす。(あく抜きや色止めのため)
	かぼちゃ	400g	約4分	する	大きさをそろえる。
	カリフラワー・ブロッコリー	200g	約2分30秒	する	あらかじめ食塩水につけてあく抜きをする。 小房に分ける。

必ずお守りください

- 冷凍野菜（ミックスベジタブル）は、少量の加熱はしないでください。発火・発煙のおそれがあります。
- 加熱しすぎると、取り出すときに突然沸騰して飛び散ったり、やけどをすることがあります。そのまま 20〜30 秒ほど冷ましてから取り出してください。

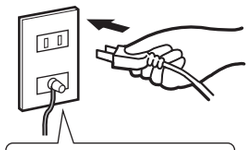
解凍

食材の質量を「**時間設定**」キーで設定して解凍します。大きさ・厚さをそろえて冷凍しておくとムラなく解凍できます。

知っておいていただきたいこと

電源を入れるには

- 電源プラグをコンセントにさし込み、ドアを開閉して表示部に“0”を表示させます。
- 表示部に“0”と表示されている間のみ各種操作をすることができます。
- 表示部のオレンジ色は、無操作状態および調理終了後約1分経過後消灯します。
- “0”と表示されている時間が「5分以上」経つと自動で電源がOFFになり待機状態（表示部が消灯）になります。（省エネ設計）
- 再度電源を入れるにはドアを一度開閉してください。電源が入り表示部に“0”と表示されます。



加熱モードについて

- あたためる方法には「クイックスタート」「手動調理」「自動調理」「解凍」の4種類があります。調理の内容に合わせて最適の方法を選んでください。
  詳しい操作方法はそれぞれの「**使いかた**」➡11〜14ページをお読みください。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。再開するときはドアを閉め「**あたため／スタート**」キーを押してください。

時間・質量設定について

- 設定できる最長時間は「**900W**」のときは**3分**、「**600W**」「**500W**」のときは**15分**、「**200W**」のときは**30分**です。

※900Wでの連続運転は約1分30秒です。その後、自動で600Wに切り替わります。

- 解凍モードでの解凍質量は「最小100g〜最大500g」です。
- 加熱をくり返した場合は、製品保護のため出力が下がる場合があります。

調理が終了したとき

- 加熱が終了すると「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴り、表示部には“0”を表示します。
- やけどに注意して食品を取り出してください。加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態（表示部が消灯）になります。
- 調理終了後（お知らせ音が鳴り、表示部には“0”を表示）、本体が高温のときは、電子部品を保護するため一定時間冷却ファンが動作する場合（表示部に“FAn”を表示）があります。

キッチンタイマーについて ☞15ページ

- 最大設定時間は「90分」です。
- 「20 分」以上設定のときは、秒の設定はできません。
- タイマー動作終了後は、お知らせ音が鳴ります。
- タイマー動作中は、他の加熱機能は使用できません。
- タイマー動作中に「とりけし」キーを押すと、タイマー動作が終了します。

その他の便利機能について ☞12、14、16ページ

- **出力４段切替機能つき**
  「900W」「600W」「500W」「200W」の４種類が選べます。最適の調理方法でおいしく調理できます。
- **「解凍」専用キーつき**
  解凍する材料の大きさ、種類に合わせて、最適の時間設定ができます。
- **消音モード機能つき**
  操作音・加熱終了音・お知らせ音が鳴らないように設定できます。

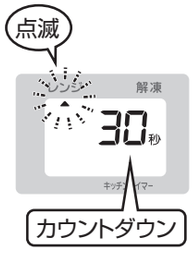
あたためる（クイックスタート）

1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に“0”を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

2 あたため スタート を押す

- 時計が30秒よりカウントダウンを始め、加熱が始まります。
- 加熱中「**あたため／スタート**」キーを1回押すごとに30秒単位で増え、最長5分まで設定できます。
- 出力は 600W です。
- 加熱中は「▲」が点滅し、庫内灯が点灯します。
- 加熱を途中でとりけしたいときは、「**とりけし**」キーを押してください。



できあがり（加熱終了）

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には“0”を表示します。
- 食品を取り出してください。

※ 加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が 1 分ごとに 5 回鳴り、5 分後に待機状態（表示部の“0”が消灯）になります。

※ **加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。冷却中は表示部に“FAn”を表示します。**

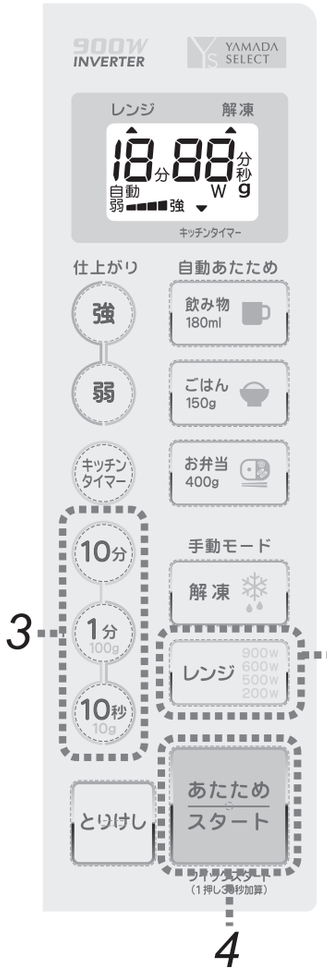
加熱が足りないときは…

手動調理で様子を見ながら追加加熱してください。➡12 ページ参照

お知らせ

- 途中で様子を見ながら調理してください。
- 食品の量が2倍になると、加熱時間は2倍弱になります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「**あたため／スタート**」キーを押すと残りの加熱を再開します。加熱が不要なときは「**とりけし**」キーを押して、設定を解除(表示部は“0”を表示)してください。
- 各設定キーは無操作状態が1分間続くと設定がリセットされ、電源が入った状態（表示部は“0”を表示）に戻ります。その場合は最初から設定し直してください。

あたためる（手動調理）



1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に“0”を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

2 レンジ を押して出力を設定する

押すごとに、900W➡600W➡500W➡200W と切り替わります。

（600Wに設定の場合）

3 10分 1分 10秒 を押して時間を設定する

20分以上に設定する場合は、秒は設定できません。

設定できる時間

900W	600W	500W	200W
3分	15分	15分	30分

※ 出力設定をしないと時間設定はできません。

※ 「**時間設定**」キーを押したあとに出力を変える場合は、「**とりけし**」キーを押して「**手順2**」からやり直してください。

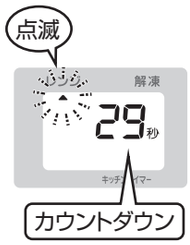
※ 900Wでの連続運転は約1分30秒です。その後、自動で600Wに切り替わります。

- 加熱をくり返した場合は、製品保護のため出力が下がる場合があります。

（30秒に設定の場合）

4 あたため スタート を押す

- 加熱が始まります。
- 時計がカウントダウンを始め、加熱が始まります。
- 加熱中は「▲」が点滅し、庫内灯が点灯します。
- 加熱を途中でとりけしたいときは、「**とりけし**」キーを押してください。



できあがり（加熱終了）

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には“0”を表示します。
- 食品を取り出してください。

※ 加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が 1 分ごとに 5 回鳴り、5 分後に待機状態（表示部の“0”が消灯）になります。

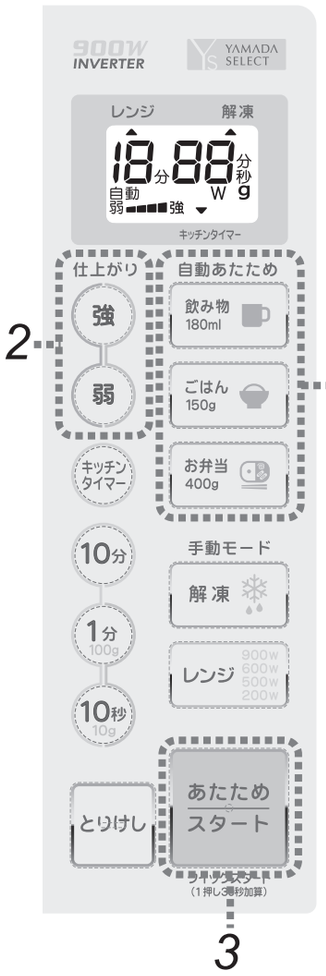
※ **加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。冷却中は表示部に“FAn”を表示します。**

お知らせ

- 途中で様子を見ながら調理してください。
- 食品の量が2倍になると、加熱時間は2倍弱になります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「**あたため／スタート**」キーを押すと残りの加熱を再開します。加熱が不要なときは「**とりけし**」キーを押して、設定を解除(表示部は“0”を表示)してください。
- **ごはん類・ドライフルーツ・ミックスベジタブルを加熱しすぎると白煙があがり炭化します。**

つづき

あたためる(自動調理)



1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に“0”を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

2 メニューを選ぶ

(お弁当の場合)

飲み物・・・コーヒーや牛乳など飲み物(約180ml)をあたためるとき

※お酒はあたためられません。お酒は調理時間の目安(9ページ)を参考に手動調理(12ページ)であたためてください。

ごはん・・・ごはん一膳(約150g)をあたためるとき

お弁当・・・コンビニのお弁当など(約400g)をあたためるとき

- 設定された加熱時間を表示します。

飲み物 180ml :1分20秒　ごはん 150g :1分15秒　お弁当 400g :4分

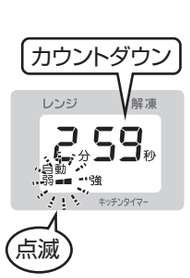
- 自動調理メニューでは、「**時間設定**」キーは操作できません。「**仕上がり調節**」キーで調節してください。

仕上りの強さを調節したいときは…

強 加熱時間が10秒～20秒長くなります。

弱 加熱時間が5秒～10秒短くなります。

3 あたため スタート を押す



- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。
- 加熱を途中でとりけしたいときは、「**とりけし**」キーを押してください。

できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には“0”を表示します。
- 食品を取り出してください。

※ 加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の“0”が消灯)になります。

※ **加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。冷却中は表示部に“FAn”を表示します。**

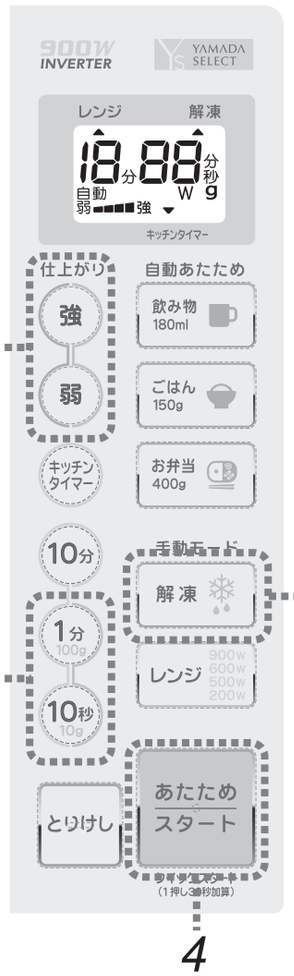
加熱が足りないときは…

手動調理で様子を見ながら追加加熱してください。➡12 ページ参照

お知らせ

- 「**自動あたため**」キーに表示されている分量と大きく異なる場合は、手動調理(12ページ)であたためてください。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「**あたため／スタート**」キーを押すと残りの加熱を再開します。加熱が不要なときは「**とりけし**」キーを押して、設定を解除(表示部は“0”を表示)してください。

解凍する ※解凍は200Wになります。



1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に“0”を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

2 解凍を押す

「▲」が解凍の位置に点灯し、「dEF」を表示します。

3 1分 100g 10秒 10g を押してグラム(g)を合わせる

- 設定可能な質量は100g～500gです。

※100g以下のときは、レンジの手動調理出力200Wで解凍時間を設定し、様子をみながら解凍してください。➡12ページ参照

(200gを設定した場合)

1分 100g (100gキー)…100g単位で設定を行います。

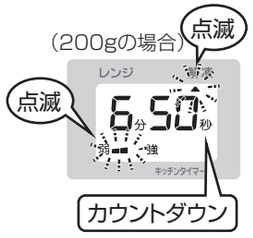
10秒 10g (10gキー)……100g以上のとき、10g単位で設定を行います。

仕上りの強さを調節したいときは…

強 加熱時間が1～2割長くなります。

弱 加熱時間が1～2割短くなります。

4 あたため スタート を押す



- 庫内灯が点灯し、解凍が始まります。
- 表示部には解凍する時間が表示されます。
- 解凍時間は、食品の重さによって自動的に設定されています。

〔例：100g の場合… 約 4 分／ 200g の場合… 約 7 分〕

- 加熱を途中でとりけしたいときは、「**とりけし**」キーを押してください。

できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には“0”を表示します。
- 食品を取り出してください。

※ 加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の“0”が消灯)になります。

解凍が足りないときは…

レンジの手動調理出力 200W で解凍時間を設定し、様子をみながら追加解凍してください。➡12 ページ参照

お知らせ

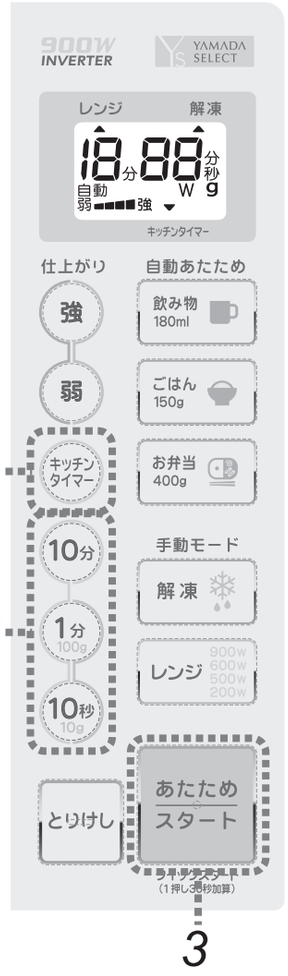
- 食品の形状、解凍開始時の食品温度によっては部分的に煮えることがあります
- 庫内が熱いときは、ドアを開け庫内が冷えてから解凍してください。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「**あたため／スタート**」キーを押すと残りの加熱を再開します。加熱が不要なときは「**とりけし**」キーを押して、設定を解除(表示部は“0”を表示)してください。

つづき

キッチンタイマー

- 設定した時間までの残り時間を表示し、お知らせ音が鳴ります。
- 表示部に“0”と表示されている間のみご使用できます。

※待機状態（表示部の“0”が消灯）のときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。



1 キッチンタイマーを押す

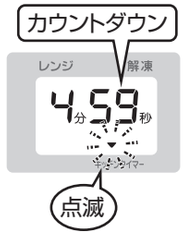
表示部に「▼」と「**時間**」を表示します。

2 10分 1分 10秒 を押してタイマー時間を設定する

- 設定時間は最大は「90 分」です。
- 設定時間が20分以上の場合は、秒の設定はできません。

3 あたため スタート を押す

- タイマー動作を開始します。
- タイマー動作を中止するときは、「**とりけし**」キーを押してください。



4 時間になると、お知らせ音が鳴る

- 設定時間が終わったら「ピー、ピー、ピー」とお知らせ音が鳴り、表示部に“0”と表示します。
- 5 分間操作しない場合、待機状態（表示部の“0”が消灯）になります。

お知らせ

- キッチンタイマーの動作中は、ドアを開閉しても動作を継続します。
- キッチンタイマー動作中は、加熱調理はできません。
- 消音モード設定中でも、キッチンタイマーのお知らせ音は鳴ります。

消音モード

- 操作音・加熱終了音・お知らせ音が鳴らないように設定できます。
- とりけし を約3秒間押すと消音モードになり、表示部に“OFF”と表示します。

※待機状態（表示部の“0”が消灯）のときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

- 同様の操作で、消音モードを解除することができます。解除する際は、表示部に“On”と表示します。
- 消音モード設定後、操作しない状態が5分続くと表示部の“0”表示が消えます。
- 消音モードの「設定」「解除」は表示部に“0”を表示している場合のみ切り替えできます。
- 消音モード設定中でも、キッチンタイマーのお知らせ音は鳴ります。

加熱のしくみ

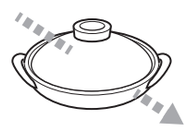
レンジ加熱のしくみ

電波（高周波）で食品を内と外から同時に加熱します。

- 電波（高周波）が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子に摩擦運動が起きます。この摩擦運動による熱で、食品は内と外から加熱されます。

電波の特性

水分のある食品は、吸収されます。

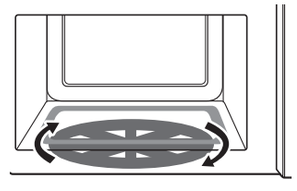


耐熱性のあるガラス容器、陶器などは、透過します。

金属製の器などは、反射します。

フラット構造の加熱のしくみ

底面に内蔵した反射板を回転させることでマイクロ波を乱反射させています。



上手に使うポイント

レンジを使うポイント

■ 上手に調理（加熱）するために…

お弁当などは1個ずつあたためる
- 上下に積み重ねると上手にあたたまりません。

容器は必ず確認する
- 発泡スチロールや耐熱性のない容器は、あたためないでください。

ゆでる煮るなどの調理は、食材の厚みや大きさをそろえる
- 厚みや大きさをそろえることにより、加熱ムラを少なくすることができます。
- 加熱後、庫内から取り出し、ラップをしたまま5分ほど蒸らすと、よりムラなく仕上ります。

加熱の途中で、裏返したりかき混ぜる
- 加熱ムラを少なくすることができます。

卵はそのまま加熱しない
- 大爆発（破裂）し大変危険です。
- 卵を加熱するときは、よく割りほぐしてください。ゆで卵のあたためもしないでください。

■ 上手に解凍するために…

ラップやふた、飾りは外して解凍する
- 発泡トレイのまま解凍できます。ラップなどに包んで冷凍した食品は、平らな皿にキッチンペーパーなどを敷いた上に食品を置いて解凍してください。

解凍前に常温で放置しない
- 冷凍庫から出してすぐに解凍することをお勧めします。食品から水（汁）が出るなどして風味や鮮度を損なう原因となります。

アルミホイルを上手に利用する
- 形や厚みが均一でない食品は薄いところや細かいところを、厚みのある食品は外周をアルミホイルで包むことにより、解凍ムラを防ぐことができます。
  ※アルミホイルは庫内側面やドアに当らないように注意してください。
- 通常の加熱調理にはアルミホイルを使わないでください。
  ※火花が出て故障の原因となります。

加熱調理を行ったあとは、庫内が十分に冷えてから解凍する
- 加熱調理を行ったあとに解凍をするときは、ドアを開け十分に庫内が冷えてから解凍してください。

野菜をゆでるときのポイント

■ 葉・果菜類

洗ったあとの水滴がついたままラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして皿にのせます。

葉菜類
- 葉と茎を交互に重ねます。（太い茎には十文字に包丁を入れてください）
- アクのある野菜（ほうれん草・春菊・小松菜など）は、加熱後すぐに流水にさらしてアク抜きをし、その後冷水に取って色止めをします。
- 量が多いとき（300g以上）は、半分に分けてラップに包んでください。

果菜類
- 大きさをそろえて切ります。
- アクのある野菜(なす・ブロッコリー・カリフラワーなど)は、加熱前に食塩水につけてアク抜きをします。
- 色の濃い野菜（なす・ブロッコリー・さやいんげん・グリーンアスパラガスなど）は、加熱後すぐに流水にさらしてアク抜きをし、その後冷水に取って色止めをします。

■ 根菜類

ラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして皿にのせます。

丸のままゆでるとき
- 洗って、皮付きのままラップに包みます。
- 2個以上のときは、できるだけ大きさをそろえて重ならないように並べます。
- 加熱の途中で一度上下を返します。
- じゃがいも・さつまいも・さといもなどは、加熱後庫内から取り出し、ラップをしたまま5分ほど蒸らします。

切ってゆでるとき
- 皮をむき、大きさをそろえて切ります。

※小さく切ったものや少量で加熱すると、火花が出て焦げたり乾燥することがあります。
様子を見ながら加熱してください。
※食品の出し入れの際は、やけどに注意してください。

お手入れ

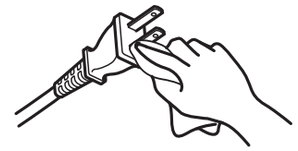
お手入れはこまめに行ってください

⚠ 警告

本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしないでください。

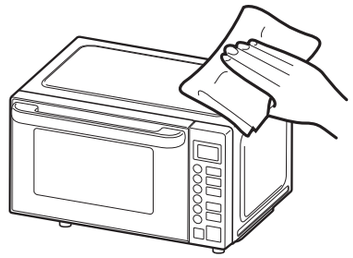
電源プラグ

柔らかい乾いた布などで拭いてください。液体は使わないでください。



本体外側

本体外側は柔らかい乾いた布などで拭いてください。
汚れの落ちにくいときは水で薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、よく拭きとってください。



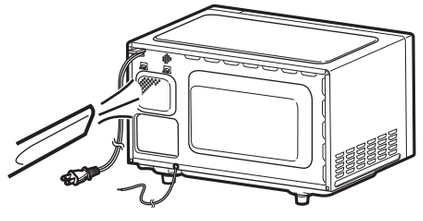
庫 内

かたくしぼったぬれふきんで拭いてください。
汚れが落ちにくいときは
① 耐熱容器にお湯または水を入れて庫内に置く。
②「あたため」で 1 分～ 2 分加熱し、庫内に水蒸気を充満させる。
③ 5分程そのまま放置する。
④ ドアを開け、熱さを確かめながらやけどに注意して、ふきんで庫内を拭きとります。

⚠ やけどに注意

吸気口・排気口

柔らかい乾いた布などで拭いてください。
ホコリが吸気口などに入り込んでいるときは、掃除機のノズルなどを使ってホコリを吸いとります。



⚠ 注意
- お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、冷えてから行ってください。
  感電・やけど・けがをする原因となります。
- ガソリン・シンナー・ベンジン・アルカリ性洗剤・灯油・ベンゾール・アルコール・みがき粉などで拭かないでください。また、殺虫剤などをかけないでください。
  樹脂や塗装部分が、変色・変質する原因となります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

こんなとき	おたしかめください
電源を入れても動作しない	●電源プラグはコンセントに確実にさし込まれていますか? ●停電をしていませんか？ ●ブレーカーが切れていませんか？ ●ドアを閉めて 5 分以上経過していませんか? **➡ドアを開閉してください。** ●ドアはきちんと閉まっていますか？
食品があたたまらない	●金属容器やアルミホイルを使っていませんか？ ●加熱をくり返した場合は、製品保護のため出力が下がる場合があります。 **➡10 分以上休ませてからご使用ください。**
加熱中カチカチと音がする	●機械のスイッチ切り替え音です。故障ではありません。
調理中火花が出る	●アルミホイルや、金属飾りのある容器や金属容器を使っていませんか？
いやなにおいや煙が出る	●庫内や、ドア内面に調理物がついていませんか？ ●調理の設定時間が長くないですか？ ●少量の食品を加熱していませんか？
ドアに水滴がつく	●食品から水分や、水蒸気が出ることがあり、故障ではありません。
加熱終了後「ブーン」と音がする	●冷却用のファンが回っている音です。電源プラグを抜かないでください。冷却中は、表示部に“FAn”を表示します。

点検後、異常がある場合は、お客様ご自身で修理せずにお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。詳しくは、20 ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

仕 様

品番	YMW-S17G1	定格容量	17L
定格電圧	100V	定格周波数	50-60Hz
定格消費電力	1350W	定格高周波出力	900W(900Wの連続運転は約1分30秒です)
発振周波数	2450MHz	質量（重量）	約10.3kg
加熱室寸法	幅　奥行き　高さ (約)273×315×181(mm)	外形寸法	幅　奥行き　高さ (約)458×354(392※)×286(mm)
電源コード長	約1.5m	区分名	A
電子レンジ機能の年間消費電力量	59.9kWh/年（50-60Hz）	年間待機時消費電力量	0.0kWh/年（50-60Hz）
年間消費電力量	59.9kWh/年（50-60Hz）		

※（　　）内は、ドア取っ手を含む奥行き寸法です。
- 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY
- 定格容量とは JIS の規定に基づいて算出された容量のことです。
- 年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」測定法による数値です。(区分名も同法に基づいています)
  実際の消費電力量は、使用回数や使用時間・食品の量・温度などによって変化します。目安としてご覧ください。
- 電源プラグをコンセントにさし込み、ドアが閉まった状態で表示が消灯しているときの消費電力は「0」W です。

修理サービスについて

（1）保証書
- この製品には、保証書がついています。
  保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。
  保証期間は、お買上げ日より本体 1 年間です。

（2）修理を依頼されるとき
- 保証期間中は
  内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
  保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときは
  お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。
  修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

（3）補修用性能部品の保有期間
この電子レンジの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後8年です。

（4）ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

（5）修理サービスについてご不明な場合
修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- ご転居やご贈答品等でお困りの場合は、株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。

株式会社ヤマダホールディングス

お客様相談室や保証書におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

- お客様相談室でお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダホールディングスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては株式会社ヤマダホールディングスと同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

愛情点検　長年ご使用の電子レンジの点検を！

こんな症状はありませんか	●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コードや電源プラグが変形･変色･損傷している。 ●電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ●電源プラグや電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常なにおいや音、振動がする。 ●ドアに著しいガタや変形がある。 ●ビリビリと電気を感じる。	こんなときは → **使用を中止してください。** 故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ずお買上げの販売店に点検をご相談ください。
こんなことはありませんか	電源プラグにホコリやゴミがたまっている。	→ **ホコリやゴミを取り除いてください。**

Memo

Memo